

[委]:常滑市教育委員会 【知】:知教労

## 1 県の「教員の多忙化解消プラン」と勤務時間の に上限について

### ア) 80時間超過者0%目標達成の見通し

[委]昨年より下がっているが完全実施は難しい。

【知】の調査:2019年6月…小中平均22%)

### イ) 2019年以降、文科省の目標に対しての常滑教育 委員会の取り組み

【知】超過勤務月45時間未満は管理職に理解されてい  
るか。

[委]いろいろな場面で話している。意識しているは  
ず。

### ウ) 業務改善に向けた学校マネジメントの推進状況

【知】管理職・養護教諭へ労安法・労安規則等の研修  
をして欲しい。県プランではR3年度から管理職の勤  
務評価の評価項目に入ってくる。知らないでは済ま  
ない。

市内各校の衛生推進者は養護教諭になっている  
ことが多いが、十分な研修もないまま業務をしてい  
る。

[委]研修会等探しているが、適当な会がなかなか見  
つからない。養教には教頭から声をかけ、業務内  
容を確認する場をもつことが必要と考える。

【知】衛生推進委員の資格を取るためには、費用が個  
人負担になってしまうが、講師を呼んで管理職・養  
教を集めての講習会を設けるのはどうか。

[委]適切な方法を探りたい。

【知】超過勤務の平均値は下がっても、一人一人の状  
況にきめ細かく目を向ける必要がある。校内衛生  
委員会の設置状況は。

[委]職員50人超は鬼南小、常東小、常中。月1回行  
われている。

【知】職員50人未満の学校でも衛生委員会を持つよう  
指導して欲しい。

[委]他の学校にも声をかけている。

### エ) 勤務時間の適正な把握

【知】タイムレコーダー等、客観的機器による記録の実  
施を取り入れて欲しい。

[委]導入の方向で積極的に検討したが、費用が高額

なため止まっている。(今年度は留守電の設置に  
予算が割かれた)

【知】情報公開で確認すると、勤務の記録には相変わ  
らず45分の休憩を取ったことにしている職員が多  
い。(1ヶ月に16時間程度少なく計上される。)正しく  
記録されていない場合は校長が指導するべきであ  
る。

[委]気になる学校があれば言ってもらえば対応する。

### オ) 県の「部活動ガイドライン」の適応・実施状況

【知】県のガイドライン「朝部は原則行わない」とあるが、  
常滑はこれを下回っている。

[委]青海中・鬼中は今年度通年朝部なし。常中・南陵  
中は来年度から無くす方向で動いている。

【知】中学は部活時間が減ってきたが、知多管内の小  
学校では逆に増えつつある。常滑の状況はどう  
か。

[委]大会との兼ね合いがある。陸上大会は会場を半  
田に移して3年目。5年目までは継続したい。バス  
ケは年3回の大会を2回にした。他の大会では、雨  
天順延を無くし雨天中止としている。体協に協力し  
てもらって縮小の方向で動いている。

部活は地域スポーツへと転換していくことが望ましい  
が、地域の理解や受け入れの部分で課題は大き  
い。

【知】外部クラブを立ち上げ、部活メンバーそのままク  
ラブを行うという抜け道を作っている教員がいる。

[委]実態把握はしていない。禁止はしていないが声を  
かけていく。常滑はないはず。

### カ) 学校訪問

【知】教師の負担軽減のため、学校訪問のあり方を考  
え直してほしい。事前の過剰な環境点検は止めた  
い。指導案はA4用紙1枚するのはどうか。(東浦は  
やっている)

[委]ベテランはよいが、指導の流れが組み立てられ  
ない少経験者もいる。年に1回は指導案を作成する  
経験は大切。教育委員会としては出されたものに  
柔軟に対応したい。

【知】簡略化して良いということか。

[委] 学校訪問要項は知教協が原則を出している。各学校で、現職部会等で話し合って形式を決めている。教育委員会でこの形でという指導はしていない。

[知] 「お見送り」は禁止にしたらどうか。

[委] 授業を見させてもらって、教育長は御礼を言っ去っている。お見送りは要らない。

キ) 多忙化解消について教職員の意識を高めるための手だては

[委] 留守電の設置、定時退校日、朝部活なしなどでやや成果が出ている。

[知] 「子供のために」という言葉から取り組みが加熱したり「〇〇を手伝って」と言われ手を貸す…など、教員は根が真面目なのでつい働いてしまう。しかし、それは勤務時間内で終わらせるという意識をもたなくてはいけない。まずは管理職の側が危機意識をしっかりともってほしい。

## 2 労働条件整備について

### ア) 教職員の健康維持

[知] 産業医による面接指導の実施状況は。

[委] 去年は2名。

[知] 超過勤務が200時間を超える人は必ず産業医にかかるとすれば教員の意識も変わるのでは。

イ) 「一年を単位とした変形労働時間制」の導入について

[知] 教員の負担が増えるため、議会での提案があった場合、ぜひ反対してほしい。

## 3 教育条件整備について

### ア) 「校内適応指導教室」の設置、指導員の配置

[知] 教室に入れない生徒の受け皿としての「校内適応指導教室」を各校に設置してほしい。また、対応者に養教・教員を充てるのではなく指導員を配置してほしい。

[委] 知多市等実践市町の状況を調べて検討する。

イ) 予算要望にあたって現場の教職員の意見を反映

[知] ICT教育を多くの教師が行っているが機器が不足している。電子黒板でなくても薄型モニターを増やせば低価格で対応できるはず。

[委] まずは校内の情報研に要望を出してほしい。

ウ) 小学校英語教員、プログラミング教育指導員の全校配置

[知] (予算・体制づくり等ですぐに実現は難しいことは承知の上で) 要望として伝えておく。(県教委も返答なしであった)

## 4 自由で民主的な教育内容の保障

ア) 魅力ある愛知キャリアスクールプロジェクト」事業  
職場体験事業のあり方の見直し

[委] 現場の声を聞いて進めている。

[知] 教育課程として行うなら夏休み実施はやめるべき。事業所の仲には負担に思っているところもある。次年度に事業参加するのか教育委員会会議の議題としてあげてほしい。

イ) 副教材・副読本の選定・採択

[知] 「知多の友」・「数学のリープ」・「健康手帳」等、学校選択制にしてほしい。また、これらの作成をしているのは外部団体。編纂作業のために勤務時間中、旅費を使って他団体へ派遣するのは中止してほしい。

[委] 意見として聞いておく。出張命令は校長判断。作成に関わることで、先生の力量が上がることもある。その副教材類が必要かを問うことはできるが、使用を止めなさいとは言えない。

[知] 他団体の副教材類の作成は教師の業務ではない。力量アップは個々に土日や夜に行えばよい。採択しないと出張に出さないなどの英断ができる校長が出ることを期待している。

ウ) パワハラ防止指針の全教職員への周知

[委] 現在のところパワハラの事案はないと考えている。

[知] ハラスメント事例についての第三者機関による対応の体制を望む。管理職が注意するなどの対応では解決が難しい。神戸の事案を受けての動きも見られない。

常滑市教育委員会: 加藤宣和教育長、山崎巖生教育部長、中野直樹学校教育課長、佐藤茂樹指導主事

知教労: 岩澤弘之、水野伸一、中沢晶子